

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(令和 7 年 3 月) **～インフレの悪影響に加え、トランプ政策も現状判断を下押し～**

- 景気ウォッチャー調査・3 月調査の近畿地域の結果は、現状判断が 44.7 と前月比で 3 か月連続の低下(−1.7 ポイント)となった。好不調の判断の目安となる 50 も 2 か月連続で下回った。さらに先行き判断も 48.0 と 2 か月ぶりの低下(−0.8 ポイント)となっている。
- 足元の景気については、月後半にかけて気温が平年を上回るなど、急に暖かくなったことで、衣料品などを中心に春物商材が一部で好調に動いたほか、インバウンド消費も前年を上回る動きを続けている。ただし、インバウンドに関しては、前年の消費が非常に好調であったことなどから、前年比での伸びが鈍化したとの声や、円高傾向となった悪影響が指摘されている。また、米国トランプ政策の影響とみられる株安傾向についても、百貨店を中心とした需要の減少につながっている。
- 一方、大阪・関西万博の開幕を控えて、ホテルなどの予約が入り始めるなど、需要の増加につながる動きが出始めている。
- ただし、企業を取り巻くコストの上昇傾向が続く中、その他の物価上昇による影響は依然として厳しい。客足の減少に加え、節約志向を背景とした購入量の減少などが、引き続き目立っている。
- 景気の先行きについては、インバウンドの増加への期待感が、百貨店やホテル等を中心に強いほか、万博の開催を目前に控え、期待感が一気に高まっている。業種としては、百貨店やコンビニをはじめとした小売関連のほか、ホテルなどの宿泊関連や飲食関連、さらに雇用関連でも観光関連を中心とした需要の増加を期待する声が挙がっている。
- 一方、物価やコストの上昇に対する警戒感は、依然として強い。消費者の節約志向が強まる中、価格転嫁は困難となっており、スーパーやレストランのほか、製造業などの企業関連でも厳しい声が聞かれる。
- 加えて、米国トランプ大統領の政策による影響につき、不安の声が上がっている。なお、相互関税は調査終了後に発表されたため、今月の結果には織り込まれていない。現時点では自動車などの関税関連の不安が中心となっており、先行きの見通しの悪化につながっている。

「万博」関連のコメント(現状判断)

家計動向関連	やや良くなっている	一般小売店〔書籍〕(管理担当)	・大阪・関西万博の開催を来月に控え、関連商品の購入が増えるなど、関心が高まっている。
		都市型ホテル(客室担当)	・大阪・関西万博の影響もあり、高単価での販売が多く、客室稼働率も80%を超えている。
		都市型ホテル(総務担当)	・大阪・関西万博の開催まで1か月を切り、宿泊では4月の予約が好調であるが、3月の集客が伸び悩んでいる。宴席、飲食関係も、近隣施設の相次ぐ開業によって伸び悩んでいる。
	なやや悪くなる	百貨店(宣伝担当)	・物価の上昇により、国内客が不要不急の消費を控える動きは続いているが、堅調であったインバウンドも今月に入って免税客数が落ちている。円高の影響に加え、大阪・関西万博を控えて、近隣のホテルが予約しにくいという声もある。

家計	な や や 悪 く な っ て い る	旅行代理店（支店長）	・大阪・関西万博の開催が近づく一方、季節的な影響もあるが、遠方への旅行の相談が減っている。
		テーマパーク（職員）	・景気が上向く期待もあるなか、大阪・関西万博の開催が近づいているが、盛り上がっていない。
企業	変 わ ら な い	金融業（営業担当）	・大阪・関西万博の開催まで1か月を切ったが、取引先の業況に大きな変化はみられない。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・駅ナカ店舗でも、人材不足による商品供給の不足や、出勤者の減少による販売力の低下が顕著となっている。大阪・関西万博の影響とみられるが、特に大学生のアルバイト確保が困難となっている。
雇用	な や や 良 く な っ て い る	人材派遣会社（管理担当）	・大阪・関西万博の開催が間近に迫り、関連求人の応募は一段落している。ただし、他の観光関連の求人は、引き続き増加傾向にある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・大阪・関西万博関連か、年度末に伴う動きによるものかは不明であるが、大企業を中心に、新聞広告やデジタル広告への出稿気運が高まっている。

「トランプ政策」関連のコメント(先行き判断)

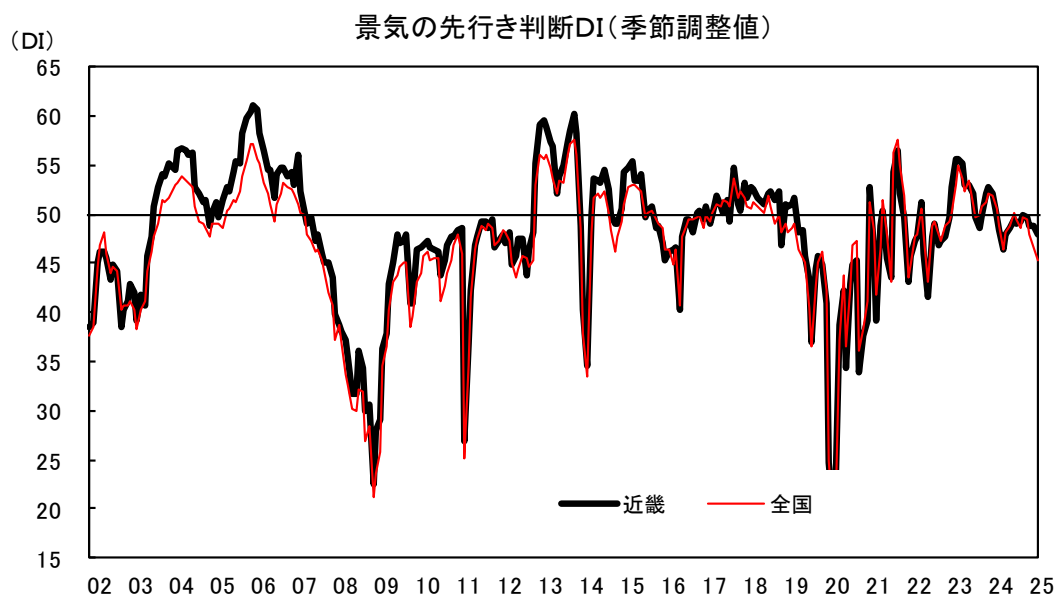
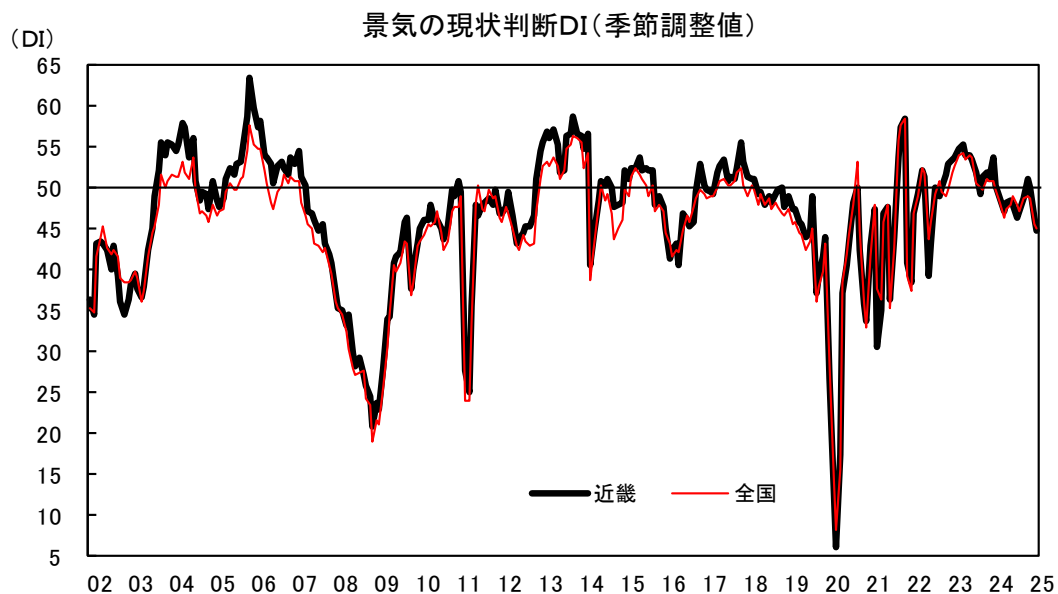
家計動向関連	変 わ ら な い	一般小売店〔野菜〕（店長）	・米国大統領による関税引上げなども始まるため、先行き是不透明である。
		乗用車販売店（役員）	・新たなヒット車種がなく、売れ筋車種が限定されるため、在庫が潤沢にあるとは言い難い。車両価格も高騰しており、新車の販売台数が大幅に増加する要素は見当たらない。さらに、本社のある欧州市場のほか、中国市場が不振であり、米国の輸入関税引上げの問題もあるなか、積極的な対策は乏しいため、今の状況が続くと予想される。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・米国大統領の政策による貿易摩擦や紛争の行方など、先行きには不透明感が強いが、業況が大きく変化することはない。
		百貨店（管理担当）	・政局の不安定さや、米国による関税引上げ、株価の先行き不透明さといった流動的な要素が多いため、一進一退の状況が続く。
	や や 悪 く な る	百貨店（売場統括）	・米国大統領の政策により先行き不透明な状況が続いているなど、好材料に乏しい状況にある。
		乗用車販売店（経営者）	・ウクライナとロシアによる戦争やガザ地区の停戦交渉も難航しているほか、米国の関税引上げの影響で世界的な株価調整局面となっている。4月からは更に物価上昇が始まるなど、景気が改善する材料に乏しい。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・円安の影響や、米国大統領の政策による影響で振り回される状況が落ち着けば、少し良くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（総括）	・米国の景気後退が予想されるなか、日本に対する輸入関税の引上げにより、厳しい状況が待っている。先行きへの不安から、消費も減退する。
		化学工業（管理担当）	・米国大統領による関税引上げの実施について、見通しが立たないため、先行きが全く予想できない。
		金属製品製造業（経営者）	・米国大統領の発言で何が起きるのかが読めない。自動車関連の関税問題などの不安材料が多いなか、来年度に期待するしかない。
企業	変 わ ら な い		

「大阪・関西万博」関連のコメント(先行き判断)

家計動向関連	良 く な る	百貨店（サービス担当）	・来月からの大阪・関西万博の開催に伴い、大阪に国内外から観光客が訪れるため、来客数の増加による売上の拡大が期待される。
		コンビニ（経営者）	・現在よりもインバウンドの来店が10%ほど増えるほか、4月からは大阪・関西万博も始まる。さらに、今後は暑い時期となるため、来客数が増加する。
		都市型ホテル（フロント）	・大阪・関西万博による効果が出ており、企業による社員旅行の問合せや受注が増えている。従来は閑散期である6月も、今年は空室がなく、既に予約で一杯の状態である。
	や や 良 く な る	一般小売店〔書籍〕（管理担当）	・大阪・関西万博の開催中は、人の往来や消費が増えると予想される。
		百貨店（売場主任）	・来客数が前年割れとなる傾向は続くものの、大阪・関西万博の開催が新たな来客につながることで、売上は少し増えることが期待される。
		百貨店（販促担当）	・今後は暖かくなるほか、前年の猛暑の記憶も鮮明ななか、その対策として機能素材などの需要が高まると予想される。また、大阪・関西万博の影響もある程度は期待できるため、土産品などの販売にも力を入れたい。
		百貨店（宣伝担当）	・大阪・関西万博の開催により、国内外からの来街客が大幅に増加すると予想している。特に会場内での飲食価格が高額な一方、弁当の持ち込みが可能のため、デパ地下を中心とした需要増加が見込まれる。
		スーパー（販売促進担当）	・現状は落ち込みがみられるものの、大阪・関西万博の開催を控え、インバウンドを含む商圏人口の増加による消費の拡大を期待している。
		コンビニ（店長）	・大阪・関西万博が始まるため、国内外からの人出が増えると期待している。
		コンビニ（店員）	・大阪・関西万博が開幕し、今まで以上に観光客が増えるが、当店としてはここ数年、外国人客が多く来店しているため、大きな変化はないと予想される。
		高級レストラン（企画）	・大阪・関西万博開催の影響でインバウンドの予約は堅調であるが、国内客の予約は伸び悩んでおり、全体では微増にとどまっている。
		一般レストラン（経営者）	・大阪・関西万博への来場が、集客の増加につながる。
		観光型ホテル（経営者）	・大阪・関西万博の開催に期待を掛けている。

家計動向関連	やや良くなる	都市型ホテル（総務担当）	・4月の予約状況から、宿泊は大阪・関西万博の開催中は好調が続く見込みであるが、直接的な影響の薄い宴席や飲食関係は、苦戦が続くと予想される。
		都市型ホテル（客室担当）	・大阪・関西万博に伴う需要がある程度見込めるため、現状よりも良くなることが予想される。
		都市型ホテル（管理担当）	・大阪・関西万博の開催による需要の増加に加え、単価や稼働率の上昇を見込んでい
		都市型ホテル（客室担当）	・大阪・関西万博の開催効果を実感することはないが、海外のWebサイト経由の先行予約は、前年と比べて好調に推移している。
		旅行代理店（役員）	・ゴールデンウィークの間際予約のほか、最大9連休となるお盆や夏休みなどの予約が増えてくる。4月13日から大阪・関西万博は近場での開催となるため、チケットだけの需要が中心となるが、徐々に間合せも増えている。また、4月18日からの神戸空港での国際チャーター便就航により、韓国や台湾などへの旅行需要の拡大も見込まれる。
		タクシー運転手	・新年度は大阪・関西万博の開催などで、多少は利用率の向上が見込まれる。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・大阪・関西万博の開幕以降、更に人の動きが活発化することで、景況感の上向く期待が高まる。不動産市況にも先高観があるため、堅調な動きが期待される。
		百貨店（企画担当）	・4月13日から始まる大阪・関西万博の効果で、海外からの客が増えることを期待している。ただし、為替の動きにも大きな影響を受けるため、効果のほどは不透明である。
	変わらない	百貨店（マネージャー）	・主にインバウンドの動きの鈍化により、足元の景気は厳しい。来客数は横ばいか微増傾向であるものの、販売量が減少気味である結果、売上は減少している。かすかな期待は大阪・関西万博であり、過去の万博でも開催前はインバウンドが減少したとの情報もあるため、今後は回復が見込まれる。ただし、大きな期待は掛けられない。
		百貨店（商品担当）	・大阪・関西万博の効果がどうなるかにもよるが、このままではインバウンドの動きが小休止となる。また、外交問題や為替の変化によるインバウンドへの影響も、今まで以上に大きくなると予想される。一方、国内客については、物価の上昇や政情不安による悪影響が出る。
		百貨店（売場マネージャー）	・大阪・関西万博の開催により、関西全体ではインバウンドや全国からの来客数の増加が期待できるが、地元客の売上が上向くとは考えにくい。その一方で、商品の値上げの動きや、水道・光熱費の高騰による消費の低迷が予想される。
		百貨店（商品担当）	・来月からの大阪・関西万博の開催に伴うインバウンド需要が期待されるが、国内客は4月以降の更なる日用品の値上げや、米国の景気後退懸念による投資家心理の冷え込みもあり、一進一退の動きが予想される。全体としても、特に上昇要因は見当たらない。
		百貨店（マネージャー）	・国内消費は夏を迎えて、モノ消費よりもコト消費が増えると思われる。そのため旬の付加価値があるコンテンツの提案がポイントになるが、消費マインドは慎重姿勢が続くそうである。一方、インバウンドについては大阪・関西万博による集客効果がポイントとなる。
		一般レストラン（経営者）	・4月に入るとまた様々な物価の上昇が予想されており、当店の仕入れにも影響が出るほか、利用客の生活費にも影響がある。また、喫煙に関する条例も施行されるため、今までの購入客の来店状況にも不安がある。ただし、大阪・関西万博がよいよ開幕となるため、良い影響が出ることを期待したい。
		都市型ホテル（販売促進担当）	・ここ最近では、客室、レストラン利用共に高水準で安定している。レストランのランチは、4月から最低価格が2000円から2400円にアップするが、先行予約の動きは良い。客室部門については、大阪・関西万博の影響は現時点で不透明であるが、レストランでは、大阪・関西万博に伴う観光バスでのランチ需要が少しずつ増えている。
		旅行代理店（支店長）	・大阪・関西万博が4月13日に開幕するが、需要の波に乗れるかどうかのポイントとなる。現状は関西ですら盛り上がり欠けている。実際には、開幕後は状況の好転が予想されるものの、景気回復の一助となるかどうかは不明である。
	やや悪くなる	一般小売店〔時計〕（経営者）	・3か月先には大阪・関西万博が開催され、関西全体が盛り上がる。ただし、収入がその分、上がるわけではないため、ふだんの買物は厳しくならざるを得ない。大阪・関西万博による需要の喚起が逆効果となることを懸念している。
		百貨店（広報担当）	・大阪・関西万博による影響を除けば、免税売上については、前年に大きく伸びた反動がしばらく続くと思われる。
		観光型ホテル（経営者）	・4月に入ると、今の勢いが少し衰える見込みである。大阪・関西万博の恩恵も、今のところは市内中心部に限られる。5月以降、当地域にも好影響が波及してくることを期待している。
企業動向関連	やや良くなる	食料品製造業（従業員）	・穏やかな気候となれば、人流も活発になり、今まで動きの悪かった商品も動き出す。大阪・関西万博も開催されるため、先行きに期待したい。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・大阪・関西万博関連の間合せが続いており、今後も駆け込み需要で受注量の増加につながると思われる。
		金融業〔保険〕（経営者）	・大阪・関西万博の開催により、少なからず観光関連の消費増加が見込まれる。
	変わらない	輸送業（経営者）	・大阪・関西万博の影響で人手不足となっており、通常は当社に来ないはずの仕事が、少し回ってくるようになっていく。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・いよいよ大阪・関西万博が開催となるが、足元の景気は決して良いわけではなく、節約志向が続くと予想される。一方、外国人旅行客は前年を上回る動きが予想されるなど、プラスとマイナスがきつ抗する形となる。
	な悪く	金融業〔投資運用業〕（代表）	・大阪・関西万博の開催が、関西景気の底上げに貢献するという見方は楽観的過ぎる。
雇用関連	やや良くなる	人材派遣会社（役員）	・いよいよ大阪・関西万博がスタートする。関西での開催気運の高まりも、景気に良い影響を与えると予想される。
		人材派遣会社（管理担当）	・大阪・関西万博の開催期間中は、観光産業からの求人の増加が続くと予想される。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・4月の大阪・関西万博の開催気運が高まることを見込んでおり、新聞広告やデジタル広告の受注予想は前年以上と考えている。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・大阪・関西万博の開催効果で人材需要が少し出ているため、求職者の動きには活気が出るものの、効果は短期間で終わる。
		職業安定所（職員）	・求人企業からは、景気に影響が出るような話はない。ただし、大阪・関西万博の開催や、米国の経済施策などによる影響は注視する必要がある。

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		23年												24年												25年					
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
現状判断	近畿	53.6	54.9	55.3	53.9	53.9	53.4	51.9	49.2	51.4	52.0	51.1	53.8	50.3	48.7	47.1	48.3	48.4	47.8	46.3	47.2	48.7	51.1	50.0	46.4	44.7					
	(全国)	52.8	53.9	54.2	53.4	54.0	53.6	50.6	49.9	49.8	51.0	50.7	50.9	49.8	48.1	46.4	47.3	48.0	48.9	48.0	47.0	48.6	49.0	48.6	45.6	45.1					
先行き判断	近畿	55.6	55.6	55.1	52.9	53.0	52.0	49.8	48.5	49.9	52.1	52.8	52.1	49.8	48.3	46.5	47.9	48.7	49.4	49.1	49.2	50.0	49.6	48.8	48.8	48.0					
	(全国)	53.0	55.0	53.7	52.4	53.4	51.1	49.8	49.9	50.7	51.2	52.1	51.8	50.6	48.8	46.4	48.1	48.8	50.2	49.5	48.7	49.8	49.4	48.0	46.6	45.2					

※季節調整値